

2019年6月6日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

RPA 統合管理ソリューション「RPAplus」を提供開始
日立 JP1 と UiPath を組み合わせ、RPA ロボットの効率運用を実現

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:菊地 哲、本社:東京都千代田区、略称:CTC)は、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)のロボットを効率的に管理する統合管理ソリューション「RPAplus」の提供を本日から開始します。本ソリューションは、米国 UiPath 社の RPA ソフトウェア「UiPath」と日立製作所の統合システム運用管理ソフトウェア「JP1」を組み合わせ、CTC が連携プログラムを独自開発してパッケージ化したものです。一部作業の RPA 化から、業務システムと連動した大規模な RPA の導入に対応し、1年間で20社への導入を目指します。

近年、経理、総務、会計などでの定型業務をソフトウェア型のロボットが代行して自動化する RPA の導入が進んでいますが、ロボットの急激な増加により管理が煩雑になる場合もあり、また、業務システムと連携した複雑な業務の自動化も求められるようになってきました。

今回提供を開始する「RPAplus」は、統合システム運用管理ソフトウェアの最新版である JP1 Version 12 で新たに搭載された RPA 連携機能を活用して、RPA ソフトウェアの UiPath について効率的な運用とガバナンス強化のための一元的な自動化基盤を提供するものです。JP1 のスケジュール機能を使った詳細なスケジューリングや、ジョブの予定と実績の一覧表示を含めた予実管理、ジョブの実行に基づくログ管理など、RPA についての管理業務を効率化します。JP1 のジョブネット機能を使用すれば複数の RPA ロボットを連携させて一つのジョブとして実行することもでき、より複雑な条件下や状況に応じた適切な処理、異常終了時のリカバリーも可能になります。

また、UiPath と連携していることで、従来 JP1 の管理対象とならなかった GUI 操作を含む定型作業の自動化もできるため、既に JP1 を活用しているお客様では更なるシステム管理・運用業務の効率化が図れます。

CTC は、日立製作所との長年のパートナーシップのもと、大規模なシステムでの導入を含め JP1 の豊富な提供実績があります。2017年から提供を開始している UiPath についても、対象業務の選定・導入効果試算を行うコンサルティングから、システム構築・運用、既存システムとの連携までトータルなサポートを提供しています。今回、JP1 及び UiPath で培った、システムや業務の自動化におけるノウハウをベースに連携するプログラムを開発しました。

今後、AI の活用を含め RPAplus の機能を拡充し、お客様の更なる業務効率化や生産性向上に貢献していきます。

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
広報部

TEL:03-6203-4100/E-mail:press@ctc-g.co.jp